

顕わす 隠す 3

松村 一男 MATSUMURA KAZUO

MATSUEDA TARU 松枝 到

吉田 敦彦 YOSHIDA ATSUSHIKO

FUJII SADAKAZU 藤井 貞和

福井 憲彦 FUKUI NORIHIKO

NISHIMURA KIYOKAZU 西村 清和

あら
顕わす

アクション

／ 隠す

アクション



あら
顕わす

アクション

/隠す

アクション/

ポラセミナーズ④ 「顕わす／隠す」3
「顕わすフィクション／隠すフィクション」

著者
松村一男 松枝 到 吉田敦彦 藤井貞和 福井憲彦 西村清和

発行日
1993年6月15日
定価
2000円（本体1942円）

コーディネーター
松枝到
編集
村澤博人 岡林みどり 久保田博 高谷誠一 渡辺直子

アート・ディレクション
三嶋典東
ブック・デザイン
TEN NET WORX

カバー・写植 レースアップ
アイ・エス・ジー
プリンティング・マネージメント
亀岡篤司
印刷所
ポラ印刷

発行者
谷川孝博
発行所
ポラ文化研究所
東京都中央区銀座1-7-7
電話 代03-3564-3651
振替口座 東京1-69755

©1993 Printed in Japan
ISBN4-938547-27-9

1 ————— 011

2 ————— 045

3 ————— 107

4 ————— 137

5 ————— 185

MATSUMURA KAZUO

松村 一男

× … … … … 神々のかくれんぼ—ギリシアの神々・日本の神々

MATSUEDA ITARU

松枝 到

YOSHIDA ATSUHIKO

吉田 敦彦

… … … … 神々の隠しごと—山姥・女神・縄文母神

FUJII SADAKAZU

藤井 貞和

… … … … 王朝の秘めごと—「源氏物語」を彩る禁忌の輝き

FUKUI NORIHIKO

福井 憲彦

… … … … 『薔薇の名前』のミステリー—書物の迷宮

NISHIMURA KIYOKAZU

西村 清和

… … … … かくれんぼとコケットリ—『龍潭譚』を読む



.....

MATSUMURA Kazuo——天理大学助教授、宗教学、神話学専攻。日本学術振興会特別奨励研究員を経て、現職。共著書に「神話学とは何か」『世界神話辞典』、訳書にエリアーデ『世界宗教史1』などがある。



.....

MATSUEDA Itaru——和光大学助教授、文化史専攻。言語と図像と人の交通に関心を注ぎ、西と東のイメージ宇宙の連鎖と葛藤を探る。発見の方法としての〈イコノロゴス〉をたずさえて、アジアの記号と象徴の森へわけいる。



.....

YOSHIDA Atsuhiko——学習院大学教授、東洋文化研究所所長。比較神話学、西洋古典学専攻。昔話の神話学的研究、ギリシャおよび日本の神話の比較分析などを通じそれぞれの文化の中で神話・昔話が持っていた意味を探っている。



.....

FUJII Sadakazu——詩人、国文学者、東京学芸大学教授。「物語研究会」に所属し、源氏物語の研究に従事した。古代歌謡や万葉集の研究では新しい見解を次々発表。また現代詩の実作者としても注目されている。



.....

FUKUI Norihiko——学習院大学教授、フランス近現代史専攻。都市化現象の比較史を目下の興味テーマとしている。著書に『時間と習俗の社会史』『「新しい歴史学」とは何か』『鏡としての歴史』など多数ある。



.....

NISHIMURA Kiyokazu——埼玉大学教授、美学専攻。ドイツ観念論ないしロマン派の美学研究から出発し、近年は、遊び、フィクション、物語、映画、キツチュ、広告など、ひろく人間の美的なふるまいの記述・分析にとりくんでいる。



松村 一男

多神教一般は神と人間が峻別されていなくて、自分自身が神
になったり、神をこっちへ呼んできたり、日常生活のちょっ
とした一瞬に、神との交流を続けてくることができた。

FROM P.043 神々のかくれんぼ-ギリシアの神々・日本の神々

日本の神々とギリシアの神々-P.014／日本的な神、ディオニュソス-P.023／新しい神々の出現-P.
036



松枝 到

日本の場合も、絶え間なく、瞬間瞬間にも神はいる。だから、
見えないのではなくて、ちょっとモメントを切り替えれば見
えることを知っている。

FROM P.043 神々のかくれんぼ-ギリシアの神々・日本の神々

日本の神々とギリシアの神々-P.014／日本的な神、ディオニュソス-P.023／新しい神々の出現-P.
036



吉田 敦彦

土偶が表していた母親は、破片になってもまだお祀りをされるような、ありがたい母親、女神、母神なのです。その母親の像をつくっておきながら、必ず壊してしまう。

FROM P.101 神々の隠しごと-山姥・女神・縄文母神

山の女神「山姥」-P.048／日本神話と山姥-P.067／縄文母神と山姥-P.100



藤井 貞和

六条御息所がだれに祟って、だれを殺したり、追い出したりしたかを見ていくと、単なる政治的な敵対者とは違う、物の怪まで含んだ敵対者と味方との関係が見えてくる。

FROM P.134 王朝の秘めごと-「源氏物語」を彩る禁忌の輝き

秘すれば花-P.110／禁忌の侵犯-P.113／出家と密通-P.116／藤壺出家の謎-P.120／「須磨」「明石」物語の筋の破綻-P.126／王権簾幕の劇-P.130／明石・桐壺一族の守護霊 六条御息所-P.133

福井 憲彦



歴史的現実についての理解可能性は、どういうレベルで成立
しうるのか。事実と虚構あるいは実在と表象の境域がどうや
ったらつかめるのかを、エーコは描き込んでいる。

FROM P.183 「薔薇の名前」のミステリー-書物の迷宮

エーコの舞台設定-P.140/背景としてのカトリックの世界-P.148/「微候」を読み解く-P.152/法
皇と皇帝の葛藤-P.158/正統と異端-P.167/終末論的世界-P.171/知の地殻変動-P.175/ボルヘ
スへのオマージュ-P.178/過ギニシ薔薇ハタダ名ノミ-P.180

西村 清和



『龍潭譚』は、現実と夢幻、現在と過去という境界領域を両
義的にし自在に行き来させる。そこに、際立った幻想性をか
もしだすこの作品の構造的な特性がある。

FROM P.227 かくれんぼとコケットリー-「龍潭譚」を読む

『龍潭譚』-P.188/「企て」と「遊び」-P.205/メタ・コミュニケーション-P.211/コケットリー-P.
217/ダブル・バインド-P.221/回想・追憶-P.223

COVER & FRONT ILLUSTRATION——三嶋典東

POLA SEMINARS — 6

「顕わすフィクション／

隠すフィクション」

1

松村一男

MATSUMURA KAZUO

× 神々のかくれんぼ

ギリシアの神々・日本の神々

松枝 到

MATSUEDA ITARU

- 014 日本の神々とギリシアの神々
- 023 日本的な神、ディオニュソス
- 036 新しい神々の出現
- 011 — 神々のかくれんぼ

多神教一般はおそらく神と人間が峻別
されていないくて、実は自分自身が神にな
ったり、神をこっちへ呼んできたりをや
りながら、日常生活のちょっとした一瞬
に、神との交流を続けてくることがで
た。そういうことの一つのメッセージ
が、神話であり儀礼であった。



MATSUMURA KAZUO



MATSUEDA ITARU

日本の場合も、絶え間なく、瞬間瞬間に
も神はいる。そして、ちょっとした切れ
目切れ目に絶えず姿を現出させたりし
ている感じが強いんです。だから、見え
ないのでなくて、絶え間なくそこにい
て、ちょっとモメントを切り替えば見
えるということを知っている、そんなレ
ベルがあるのではないかな。

神々

の

かくれんぼ

ギリシアの神々・日本の神々

- 014 日本の神々とギリシアの神々
023 日本的な神、デイオニュソス
036 新しい神々の出現
013 — 神々のかくれんぼ

日本の神々とギリシアの神々

松 枝

ギリシア神話を読んでいると、神々の突飛な行動というか、神々の不思議な行動が随所に出てきますけれど、おおざっぱに言って、人間の心性としてはふかく納得できる話がいふんあるように思います。そういうなかで、隠れてしまう神、あるいは、いてはおかしい所に突然出てきてしまう神というのが、日本でもどこでも、世界中に例が無数にあるはずです。

松 村

ぼくにとつておもしろいのは、突然現れてくる神のほうです。神が突然出現して、まったく人間の側の意図にかかわりなく、ああしろこうしろ、家畑を全部売り払え、金は全部人にくれてやれというようなことを言い出す。そのこの意味は最初はわからないわけです。

そのときに、人間というのは、無意味な空間なり、時間なり、状況なりに耐えられない部分があるから、なんとかそれを説明しようとする。その一つの説明原理というのが神々だと思っんです。だから、神々というのは、人間が感じるものではあるけれども、同時に無意識のうちに人間